

「社会を明るくする運動」月間の行事として、南国市更生保護婦人会の一行が、佐賀県刑務所への研修旅行に出発したのは、梅雨もさ中の七月五日の夜でした。

鳥栖市の女囚刑務所と、佐賀市の少年刑務所を訪問し、受刑者の更生への姿を見学しようという目的でした。

「女囚刑務所」それは暗いイメージと共に私たちに縁遠い、禁制の響きをもった場所なのです。不安と期待の交錯する心を抱いて総勢二十二人は、しばらくは賑やかな会話にはずんでいました。

夜明けのさわやかな関門橋を渡り、一路鳥栖市へ。

木の間がぐれに「籠刑務所」の表札と、一きわ高い鉄扉が見えると、なぜか胸の痛む思いで、静かにバスを降りました。

講堂に案内されて、係官より施設運営方針や、諸説明のある中で、「ごく最近までは、外部見学者に収容者との接触は許さなかったがやはり、自分たちがこうして、真剣に働いて、更生への道に励んでいることを見てもらおう。」ということになり、開放して皆さんに大いに見てもらっています。」という言葉が深く印象に残っています。庭に出て植木の手入れをする人

洗たく場で作業する人たち。皆精出していました。全国矯正職員の間服縫製を実施しているという大作業場では、裁断から仕上げまでの過程を、それぞれの流れ作業で縫製されていました。私たちが会釈をして通ると、「おはようございます。」と顔を上げて、明るくあいさつをしてくれます。救われた気持ちで「まあきれいに縫えていますねえ。」と声をかけて、見せてもらいました。多人数での作業で

女囚刑務所を視察して

日章 末政須賀子

すが、静かに、熱心に手を動かしていました。

この施設は、収容人員は百九十八名で現在は、百九十七名収容し、平均年齢は四十三歳ということでした。高知県からも、何人かは収容されているということです。この人たちの一番の心配は、刑期を終えて町へ帰った時、人々が温かく迎えてくれるだろうか。子どもが差別されはしないだろうか。ということだそうです。私たちはこの真剣な態度で刑に服している姿に接し、早く刑を終えて社会復帰してほしい。そして、この人たち

を迎える地域住民の温かい、思いやりのある心がほしい、と祈らずにはいられませんでした。生活指導面でも、その充実が計られ、クラブ活動に、自分の趣味と能力を生かすことができるよう係官の愛情ある配慮がうかがわれ、嬉しく思いました。季節の行事など数々あり、釈放準備教育も充実し、更生自立への意義を高めるということでした。

庭の一隅に阿弥陀如来像が建てられ、つぐないの道にいそむおみならに あまねくそぞく春のみ光と刻まれ、お花が手向けられていました。

午後からは、佐賀市内の少年刑務所の訪問です。係官の丁寧なあいさつと、説明があり、その中で、「受刑者には話しかけないで下さい。」との注意がありました。緊張した面もちで順次訓練状況の見学です。先頭の係官が錠をはずす、後尾の係官がすぐ締める厳重な警戒のもとで、左官、大工、印刷、陶工、窯業（墓石製作）理容や所内清掃など、各人の能力に応じた

の訓練がされてきました。明るい顔、元気なたくましい顔少しこわい顔もいて、汗にまみれたの作業です。どんな法に触れることをしたのだろう。と案じ、出所後は、身につけた職業が充分生かせるよう頑張っしてほしいと、祈りました。

二つの刑務所を視察して、この人々が一日も早く刑を全うして、完全に社会に復帰されることを願う、そのため日々の訓練に精進されるよう祈りました。また、収容者の人権保障のために、教育面でも係官が大変努力されていることに感心させられました。

しかし、ここまで来ることのないよう、未然に防ぐ周囲の配慮も大切であることを、しみじみと感じました。

二カ所の研修を終えた安ど感に、車内は回想しきりです。梅雨晴れの国道を、次の見学地有田焼の本場へ、向かいました。

南国市更生保護婦人会は、現在約四十名の会員で構成されています。毎月一回広報車によって市内を巡回し、「非行防止、家庭の日」を呼びかけています。

私たちの地域からは、非行者を出さないよう、お互いに協力し合いたいものだと思います。

市民憲章

わたしたちの郷土南国市は、土佐文化の発祥地、そしてまた、清新な生産都市であります。この誇りのうえにたち、さらに一大飛躍発展をとげるために、次の信条を守りましょう。

- ☆文化財と自然を保護し、新しい文化のかおり高い歴史のまちを築きましょう。
- ☆青い空、清い海、緑の山野、そして豊かな太陽のふりそぞく、健康で明るいまちにいたしましょう。
- ☆川は市民の顔、清くて豊かな流れをつくりましょう。
- ☆第三日曜日は家庭の日、全戸笑顔で子供を守り育てましょう。
- ☆老人は市民の宝、小さい親切運動と福祉の豊かなまちにいたしましょう。
- ☆三悪を追放し、交通事故のない住みよいまちにいたしましょう。